

## 電事連会長 定例会見要旨

(2016年1月22日)

電事連会長の八木でございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。本日は、年頭にあたりまして、「今年の課題と抱負」について申し上げます。

### < 昨年の振り返り >

まず初めに、昨年を振り返らせていただきますと、我が国全体といたしましては、景気は緩やかな回復基調にあったものの、「経済の好循環」にまでは至りませんでした。今年、日本経済にとって安定成長に向けた正念場であり、「デフレ脱却」と「経済再生」が実現する年になることを期待しております。

一方、電力業界を巡る状況といたしましては、電力需給・事業収支の両面において厳しい状況が続く中ではありましたが、川内原子力発電所1・2号機が営業運転を再開するとともに、他のプラントにおいても、適合性確認審査への対応が進むなど、着実に前進が図られた年でありました。

また、エネルギー政策の面でも、2030年度におけるエネルギーミックスが決定するとともに、電力システム改革について、発送電分離に係る法改正や小売全面自由化に向けた体制整備などが進められました。

さらに、原子燃料サイクル事業を着実かつ効率的に実施するための事業環境整備や、再生可能エネルギーの導入拡大と国民負担抑制の両立の観点から、FIT制度見直しの議論が進められ、今後の対応の方向性について取りまとめがなされるなど、大きな動きがあった1年となりました。

## <今年の課題と抱負>

続きまして、「今年の課題と抱負」について申し上げますと、今年は、いよいよ4月1日から小売全面自由化がスタートいたします。小売全面自由化は、ご家庭を含む全てのお客さまが、自ら契約する電気事業者を選ぶことができる制度であり、私どもといたしましても、積極的に取り組んでまいります。

また、小売全面自由化を含めた電力システム改革が、真にお客さまの利益につながるものとなるよう、残された課題の議論につきましても、実務に携わる立場から、積極的に参加してまいりたいと考えております。

一方で、小売全面自由化以降も、良質で低廉な電気が、国民の皆さまの生活や産業活動の基盤であることに変わりはありません。また、「電力の安定供給」が私どもの最大の使命であることにも何ら変わりはありません。

震災以降、足元の安定供給の確保につきましても、国民の皆さまに節電のご協力をいただきながら、供給面においても最大限の対策を行っているところでありますが、引き続き、各事業者が使命感を持って、それぞれの責任をしっかりと果たすとともに、安定供給に関わる部分については事業者間で連携を図りながら、快適な生活や経済活動に貢献してまいりたいと考えております。

資源に乏しい我が国におきましては、S + 3 Eの観点から、特定の電源や燃料源に過度に依存しないエネルギー供給体制を構築することが極めて重要であります。

折しも、中東における地政学的リスクの顕在化や、原油価格の大きな変動、新興国の経済状況など、エネルギーを巡る国際情勢は予断を許さない状況にあります。

電力各社とも、燃料調達先の分散化などのリスク低減策に努めているところではありますが、持続可能な安定供給を確保するためには、準国産エネルギーであり、ベースロード電源である原子力が一定の役割を果たしていくことが不可欠であります。

そうした点におきましても、引き続き、適合性確認審査に真摯に対応し、一日も早い原子力発電所の再稼働を目指してまいります。

なお、原子燃料サイクル事業に対する制度措置につきましては、今後、国会において審議されるものと認識しておりますが、私どもといたしましては、新たな事業環境下においても、引き続き、日本原燃を支え、これまでに蓄積された技術や人材、設備などを最大限に活かしながら、原子燃料サイクルの実現に向けて、しっかりと取り組んでまいり所存であります。

また、昨年末の COP21 において、京都議定書以来 18 年ぶりとなる新たな国際枠組み「パリ協定」が採択され、政府においても「地球温暖化対策計画」の策定に向けた検討がはじめられております。

私どもといたしましても、「電気事業における低炭素社会実行計画」で掲げた自主目標の達成を通じて、地球規模での温室効果ガスの排出削減に貢献してまいりたいと考えております。

<最後に>

いろいろと申し上げてまいりましたが、今年は、小売全面自由化がスタートし、電気事業にとって、かつてない大きな変革期を迎えます。

従来のお考え方にとらわれることなく、各社が電気料金メニューの多様化や新しいサービスの提供を通じて「新たな価値」を創造し、引き続き、お客さまに選択していただけるよう、競争に立ち向かっていきたいと考えております。

一方で、安定供給をはじめ、私どもとしてやるべきことには着実に取り組み、国の根幹をなすエネルギー政策の諸課題の解決に向けて貢献してまいりたいと考えております。

本日、私からは以上です。

以 上